



養殖漁業の振興のため、現在の生産レベルの維持・増大が目標です（「山田カキまつり」養殖いかだ見学から）



佐藤照彦議員

漁業振興

養殖漁業の生産目標は

15億円程度の維持・増大が目標

質問 沿岸漁業の振興について次の点を問う。

① 養殖漁業全体の生産目標をどう考えているか。

② 秋サケの資源変動の原因究明、ノロウイルス対策は現在どこまで究明されているか。

沼崎町長

① かつて本町の養殖漁業は、カキとホタテだけで二十

② 秋サケの資源変動は、明

億円以上の水揚げがあった。しかし今日、ホタテ

養殖は衰退し、年間二億円を下回っている。これ

にカキ十二億円、ワカメ、コンブの一億円余を加えて、およそ十五億円程度が現在の生産レベルであり、これの維持と増大が目標になる。

町の考えを聞く

学校教育

学習意欲の低さの原因は

「豊かな社会説」など5説

解な原因究明はされていない。県は対応策として、放流時の肥満度を高めること、北洋に到達できる

よう適期に放流することを指導している。ノロウイルス対策は、県・県漁連・漁協は対策指針を見直しながら、一体となりウイルスの自主検査を行うなど生食用カキの安全確保に努めている。県の水産技術センターと環境保健センターも研究しているが足踏み状態だ。

質問

① 学習意欲の低さの原因と、意欲の向上にどう努力しているか。

② 学力向上のための具体的な対策は。

松尾教育長

① 学習意欲の低さの原因として主なものは、「豊かな社会」「学歴社会崩壊」

「学ぶ意味の喪失」「家庭教育力の低下」「ゆとり教育影響」の五つの説があり、これらがからみあっていると考えている。

学習意欲の向上については、授業の中で「分かった」「できた」という成就感や満足感をもてる授業の実施を基本とし、児童生徒が興味関心を持って、問題解決学習や体験的な学習を実施している。

② 「山田町児童生徒の生きる力を支える基礎基本の徹底第一次基本計画」を発展させた「同第二次基本計画」を作成し、取り組む。